

図2-8 環境事業団による拠点的な広域処理施設整備の進捗状況

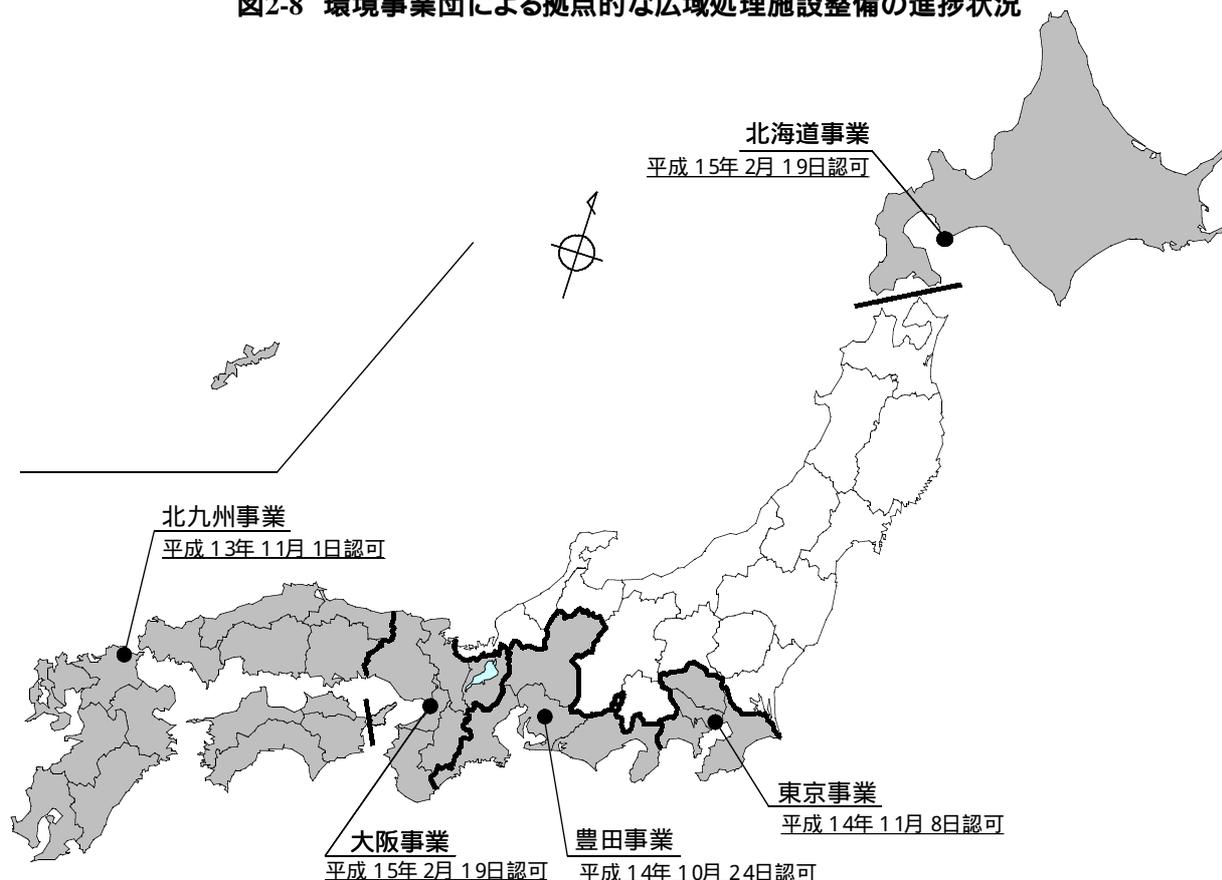


表2-3 拠点的な広域処理施設の整備

事業名	実施場所	事業対象地域	処対象	施設能力	事業の時期
北九州	福岡県北九州市	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	第1期工事で整備する施設においては、北九州市の区域等に存する高圧トランス等及び廃ポリ塩化ビフェニル等をまず対象とし、第2期工事で整備する施設と合わせて事業対象の全区域内の高圧トランス等及び廃ポリ塩化ビフェニル等に加えそれ以外のものの処理を検討。	第一期：約0.5トン/日（PCB分解量） 第二期の施設能力については、対象量の把握を踏まえ、今後設定する。	処理の開始の予定時期 平成16年12月 事業の完了の予定時期 平成28年3月
豊田	愛知県豊田市	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	高圧トランス等及び廃PCB等	約2トン/日（PCB分解量）	処理の開始の予定時期 平成17年9月 事業の完了の予定時期 平成28年3月
東京	東京都江東区地先	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	高圧トランス等、安定器が廃棄物となったもの及び廃PCB等	約2トン/日（PCB分解量）	処理の開始の予定時期 平成17年11月 事業の完了の予定時期 平成28年3月
大阪	大阪府大阪市	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	高圧トランス等及び廃PCB等	約2トン/日（PCB分解量）	処理の開始の予定時期 平成18年4月 事業の完了の予定時期 平成28年3月
北海道	北海道室蘭市	北海道	高圧トランス等及び廃PCB等	約0.2トン/日（PCB分解量）	処理の開始の予定時期 平成18年10月 事業の完了の予定時期 平成28年3月